

コーチング学学位プログラム(3年制博士課程)

コーチング学学位プログラム(3年制博士課程)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|--|--|---|
| OBTR001 | コーチング学研究法I | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 月5 | 中山 雅雄, 中村 剛, 大山 圭悟, 岡田 弘隆, 川村 卓, 木越 清信, 谷川 聡, 前村 公彦, 山田 永子, 奈良 隆章 | 近年、研究者には、論文を作成する能力とともに、研究倫理審査申請、競争的研究資金・助成金公募申請など、研究活動をマネジメントする能力が求められてきている。本科目では、これらの要請に応えるために、コーチング学における研究方法について学習するとともに、研究マネジメント力の開発を目指す。それらを通して、自立した研究者として活動していくための資質を養成する。 | 02ER001と同一。 主専攻必修科目。対面 |
| OBTR002 | コーチング学研究法II | 2 | 1.0 | 2 | 通年 | 随時 | 中山 雅雄, 會田 宏, 尾縣 真, 木内 敦詞, 坂本 昭裕, 中村 剛, 本間 三和子, 増地 克之, 山口 香, 渡辺 良夫, 秋山 央, 大山 圭悟, 岡田 弘隆, 河合 季信, 川村 卓, 木越 清信, 小井土 正亮, 齋藤 卓, 谷川 聡, 寺山 由美, 長谷川 悦示, 前村 公彦, 松元 剛, 山田 永子, 野中 由紀, 平岡 拓晃 | コーチング学に関する実務能力と高度研究能力を兼ね備えた実務型博士の養成を目指し、学生が自立して高度研究活動を実践するために、具体的なテーマに基づいた研究計画について各アドバイザリーコミティの指導のもとで学習する。 | 02ER002と同一。 主専攻必修科目 個々の学生と指導教員で実施方法を検討。対面で実施することがあったとしても、感染防止には最大限の注意を払う。 |
| OBTR003 | コーチング学事例研究法 | 1 | 1.0 | 1 | 春AB | 月6 | 中村 剛, 秋山 央, 小井土 正亮, 前村 公彦, 野中 由紀 | コーチングにおける実践力の構造を理解し、受講生自らのコーチング実践を事例研究としてまとめる方法を学習する。具体的には、コーチング実践における記録の取り方、必要なデータの抽出方法、競技力(あるいは技能、記録など)を向上させる過程を記述する方法を身につけ、異なる専門種目の受講生が読んでも体験を共有できる「ケースレポート」として提示する方法を学習する。さらに、受講生による実践事例の報告とそれに対するグループ討論を通して、コーチング実践力の向上を図る。 | 02ER005と同一。 主専攻必修科目。対面 |
| OBTR004 | コーチングの哲学と倫理 | 1 | 1.0 | 1 | 春AB | 月5 | 中山 雅雄, 齋藤 健司, 深澤 浩洋, 本間 三和子, 山口 香, 河合 季信, 向井 直樹, 浅川 伸, 勝田 隆, 秋山 央 | コーチの仕事と求められる資質および能力を理解するとともに、コーチング実践の根幹となる哲学と倫理について学習し、これからの時代にふさわしいコーチングを創造していく能力を養成する。また、授業を通してコーチングに関する哲学および倫理について深く論考し、それらを報告し議論させることをとおして、コーチとしての自らの倫理感や哲学感、視座を明確にする。 | 02ER004と同一。 主専攻必修科目。対面 |